学校番号	111

令和２年度　英語科

教科	英語科	科目	英語会話(3年)	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	Hello there! English Conversation						
副教材等	「Listening Laboratory Basic β」（数研出版）						

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

◎T-NET による授業

・T-NET の先生と、テーマに沿って聞いたり読んだりし、そのことについて考えたり、また話し合ったことを発表したりします。英会話とは「会話」を英語で行うことですから、積極的に相手とコミュニケーションをとろうという姿勢が大切です。文法をあまり気にせず、積極的に英会話に参加しましょう。

◎“Listening Laboratory Basic β” を使用したリスニング指導中心

・リスニング問題を通して、日常会話で扱われやすい表現や場面説明に慣れていくことをめざします。英語を文法から理解するというよりも、実践的なコミュニケーションの手段として積極的に使いこなせるようにしましょう。

・リスニングのポイントとしては、特に「連音」の聞き取り、および発音に対する間違った認識（カタカナ英語の弊害）の矯正を目指しますが、自分で発音し分けられない音は、聞き分けもできません。ネイティブと同じ発音を習得しなくてもよろしいが、最低限、誤解を生じないような発音の違いは意識して発音するようにしてください。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「Communication 英語Ⅲ」（３単位）

主な教材：New One World English Communication Ⅲ

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価
・前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って複数の文で描写することができる。 ・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について決まった表現や形式を用いて尋ねたり答えたりすることができる。	・授業内活動	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの、嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。	・小テスト ・定期考査	・決まった表現でゆっくりはっきり発話される天候、時間、物の値段など、日常的な事柄について内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきり発話されれば、駅や空港などの短いアナウンスについて必要な情報を聞き取ることができる。	・リスニング＆ディクテーション	・待ち合わせの時間や場所など日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考に理解することができる。	・定期考査 ・暗唱

３．学習評価(評価規準と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	授業のアクティビティーで、相手の発言を理解しようとし、自分からも積極的に発言しようという姿勢が見られるかどうかを見る。	授業のアクティビティーで、基本的な表現を用いて自分の考えを表現できるかどうかを見る。	授業のアクティビティーおよびリスニングで、内容理解の程度を評価する。	授業のアクティビティーでの発言や提出物で評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

単元（配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
・Listening Laboratory Unit1～Unit4 ・Hello there Lesson 5 ・独自プリント （６時間）	紛らわしい母音・子音	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・積極的に発話しようとする姿勢を養う。	・紛らわしい母音の発音との違いを確認する。	・グループワークにおいて、積極的に会話を続けている。	・グループワークでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・テキスト等の内容についての自分の感想を簡単な英語で述べる。	・テキスト等例文を用いながら、自分の考えを英語で書く。	・自分の考えを英語で適切に書くことができる。	・口頭発表およびワークシートの提出により判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・省略などの会話表現を適切に使用する。	・ペアワークで、適切な表現を用いた会話を練習する。	・頻出会話表現を使いこなせる。	・アクティビティーおよび考査により判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日・英両語でのリズム・スピードに対する意識の違いを理解する。	・世界の料理を通して、世界の国々について感心を持つ。	・英語のリズムで音読できる。	・口頭発表およびグループワークでの言語活動の観察により判断する。
・Listening Laboratory Unit5～Unit 7 ・独自プリント （５時間）	・ T-NETとの、自己紹介などの具体的な英会話	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・実際に T−NET と英語でコミュニケーションを図る。	・自己紹介およびその内容に関する質疑応答。	・英語で自分が表現できている。	・発表内容で判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・相手の発話に対し、内容が理解できる程度の英文を、即座に返せる。	・自己紹介の内容に関する質問に対し、適切な答えを返す。	・発音なども含め、回答が適切である	・発表内容で判断する
		「外国語理解の能力」			
		・自己紹介の内容をしっかりと理解する。	・自己紹介の内容に関し、自ら、あるいは教師から質問・確認をする。	・自己紹介の内容を理解できる。	・質問、回答などが適切であるかどうかで判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・T-NET についてよく知る。	・T-NET の自己紹介に対してさまざまな質問をする。	・適切な表現で質問ができる。 ・積極的にコミュニケーションを図る。	・適切に質問ができているかどうかを判断する。

・Listening Laboratory Unit8～ Unit 10 ・Hello there Lesson 6 ・独自プリント （5時間）	・道案内 ・時間に関する重要表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・相手の求めている事柄を正しく把握する。	・道案内のロールプレイで相手と正しくコミュニケーションを取れる。	・相手の様子を確認しながら案内する。	・アクティビティーの様子を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・方向、目標物などを正しく伝える。	・正しく目的地まで案内する。	・相手に理解しやすい案内をする。	・アクティビティーの様子を判断材料として活用する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・方向、目標物などを正しく理解する。	・正しく道順を把握する。	・目的地に正しく到着できる。	・アクティビティーの様子を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		米国のテレビ CM について知ることが出来る。	本文中で用いられている語や表現を確認する。		
・Listening Laboratory Unit11～ Unit 13 ・Hello there Lesson 7 ・独自プリント （7時間）	・電話での応対	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		本単元では設定しない。	・相手のメッセージを正しく把握する。	本単元では設定しない。	
		「外国語表現の能力」			
		・電話およびレストランでの独自の各種表現を習得する。	・各種アクティビティーで各表現を練習する。	・適切な表現を用いてコミュニケーションが取れる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・暗誦テストを実施する
		「外国語理解の能力」			
		・相手のメッセージを正確に把握する。	・各種アクティビティーで各表現を練習する。	・相手の要求に対して適切な対応ができる。	・定期考査において内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		外国の町や歴史について関心を持つことが出来る。	・有用な表現を暗誦し、正しく音読する。	・適切なリズム、スピード、アクセントで、連音や音の同化が正しく発音されている。	・暗唱テストを実施する。
・Listening Laboratory Unit14～ Unit 16 ・Hello there Lesson 8 ・独自プリント	・数値の表し方 ・通貨の単位	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		（本単元では設定しない）	・相手のメッセージを正しく把握する。	（本単元では設定しない）	
		「外国語表現の能力」			
		・電話およびレストランでの独特の各種表現を習得する。	・各種アクティビティーで各表現を練習する。	・数字が相手に正しく伝えられる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・相手のメッセージを正確に把握する。	・各種アクティビティーで各表現を練習する。	・各種数字が正しく理解できている。	・定期考査において内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

（7時間）		・各種表現を暗誦する。	・有用な表現を暗誦し、正しく音読する。	・適切なリズム、スピード、アクセントで、連音や音の同化が正しく発音されている。	・暗誦テストを実施する。
・Listening Laboratory Unit 17 ・独自プリント （2 時間）	・これまでの会話表現の復習	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・コミュニケーションを成立させる。	・各自に与えられた会話文とマッチして対話が成立する相手を探す。	・早く正しく相手を見つけ出す。	・正しさおよび早さで評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・書く英文を正しく伝えられる。	・相手に自分から英語で対話を呼びかける。	・英文が早く、正しく伝わっている。	・正しさおよび早さで評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・相手の英文を正しく理解できる。	・相手の英文とマッチしているかどうかを判断する。	・英文が早く、正しく理解できている。	・正しさおよび早さで評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・「英会話」を楽しむ。	・正しい対話を組み合わせる。	・正しい会話を早く成立させる。	・正しさおよび早さで評価する。
・Listening Laboratory Unit18～ Unit 19 ・Hello there Lesson 9 ・独自プリント （7時間）	プレゼンテーション	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自分の考えを相手に英語で伝える。	・ひとつのテーマに関して、T-NET の説明を聞き、自分の意見をまとめて発表する。	・自分を伝えようという姿勢を示す。	・発表およびワークシートの取組状況を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・正しく自分の意見を表現する。	・T-NET に紹介された語彙をうまく使いこなす。	・自分の考えを正しく表現する。	・発表およびワークシートを提出させ、その内容を判断材料として活用する。 ・定期考査で判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・T-NET の説明を聞く。	・T-NET の説明を正しく理解する。 ・他の生徒のプレゼンテーションを評価する。	・語彙が正しく把握されている。	・発表およびワークシートを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日英両語でニュアンスの異なる語彙に注意する。	・ニュアンスの違いを把握する。	・各語彙が正しく認識されている。	・発表およびワークシートを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
・Listening Laboratory Unit 20 ・Hello there Lesson 10 ・独自プリント （7時間）	プレゼンテーション	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に自分を表現する。	・自分の夢を表現する。	・間違うことを恐れず、積極的に自分の夢を話している。	・スクリプトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・正しく自分の意見を表現する。	・できる限りスクリプトを暗誦して発表する。	・自分の夢が正しく伝えられる。	・発表およびワークシートを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・他の生徒の発表を正しく聞き取る	・自分以外の生徒の発表内容を評価する。	・評価に大きな狂いがない。	・評価の正確さを判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		（本単元では設定しない）	発表で用いられている意味や用法を確認する。		